



生長の家山梨県教化部は2007年6月21日にISO14001の認証を取得し、地球環境保全に取り組んでいます。



〒406-0032  
笛吹市石和町四日市場1592-3  
宗教法人「生長の家  
山梨県教化部」  
TEL 055-262-9601  
FAX 055-262-9605  
発行人：田中 尚  
編集：編集委員会  
E-mail sni-yamanashi@nifty.com  
ホームページ <https://sni-yamanashi.org/>

生長の家総裁・谷口雅宣先生の「新年のメッセージ」は、生長の家国際本部の指示により、PDF版の『甲斐の光』には掲載することが出来ません。  
「紙」版の『甲斐の光』でご覧ください。

生長の家白鳩会総裁

谷口 純子 先生

1月5日

お誕生日

おめでとう

ございます。



読みました。解かっ

山梨教区の皆様、新

この度、二〇二五年



新教化部長  
田中 尚

着任挨拶

たような、解からない

私はこのようにして、

井下昌典前教化部長

環境共生部を経て、こ

末筆となりましたが、

私も山梨県民として

明けておめでとう

退任挨拶

前教化部長 井下昌典

退任挨拶

上げます。ありがとう

See You Again

# 謹賀新年

輝かしい新年を山梨教区の皆様と共に迎えられましたことを心から神様に感謝申し上げます。昨年は、五年振りに「生長の家山梨自然の恵みフェスタ2024」を対面で開催できました。運営委員やPBSメンバーがそれぞれの部門で素晴らしい活躍のお陰で、参加者一同明るく、楽しく、美味しい一日を体験できました。また、地域組織やPBSのそれぞれの行事に携わってくれた全ての皆様に心より感謝申し上げます。山梨教区の信徒の皆様と共に神の御心に叶った「倫理的な生活」を実践して参りましょう。

二〇二五年(令和七年)元旦



生長の家山梨教区  
 教化部長 田中 尚  
 白鳩会連合会会長 廣瀬 通子  
 相愛会連合会会長 西村 誠  
 地方講師会会長 有賀 輝子  
 栄える会会頭 石原 民雄  
 他教化部役職員一同

## 白鳩会



白鳩会連合会長  
廣瀬 通子

新年明けましておめでとうございます。山梨教区の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

昨年は社会もぐんぐん回り始め、信徒の皆様も行動が広がりキラキラと輝きのあった一年を送られた事と思います。早速ですが昨年

の成果を振り返ってみたいと思います。幹部、会員、信徒の皆様におかれましては、  
 ①六章経読誦リレー(一日一人読誦リレー)を始め3年目になりました。  
 ②オープン食堂実施(昨年令和6年度は、毎月毎月開催することが出来ました)  
 ③地球社会貢献活動(倫理的な生活の実践・フードバンク支援・地域社会貢献活動・ミニイベント開催)等にそれぞれの地域で積極的に取り組んで下さいました。本当に有難うございました。

た。感謝の思いで一杯です。この行動の積み重ねこそが、着実に「新しい文明」の基礎を作ることにつながっていると確信しています。又、「甲斐見真会、青少年見真会、各誌友会」等におきましても、参加者、運営委員全員がまさしく「自己一体」となりその明るい笑顔から、一人ひとりの神の子の力を引き出すことのできた、喜びの、愛の見真会、誌友会を開催することが出来たと思えます。これもひとえに井下

## 相愛会



相愛会連合会長  
西村 誠

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、相愛会の活動に對し、ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。相愛会山梨教区では、「運動の「数から質」への転換」を次のように考えています。これまで、各種の運動目標を数値で設定し、その数値目標を達成するために、貴重な時間を使い、地域において活動いただいていた。しかし、数字を第一に追い求めると、途中のプロセスが、運動の主旨と外れることが往々にしてあります。例えば、生長の家に、関心のない人に、無理やり生長の家を勧めるというような活動です。目の前の人を強引に成果に結びつけるためには、伝道の質を低下させて、どこかで後ろめたい気持ちを抱えながら目標を達成しなければならぬ、という結果になりがちです。それでは、運動することとがストレスになり、継続して活動するモチベーションが低下してしまいます。

二〇二五年度の運動を行うにあたっては、「どのようにしたら、運動の数値が伸びるか?」ではなく、「どのようにしたら、目の前の方が本当に喜んでいただけるか?」ということを中心に、大切な方々と喜びを共有しながら成果に結びつく運動を展開していきたいと考えております。本年もどうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。感謝再拜

感謝再拜



# 地方講師会



地方講師会長  
有賀 輝子

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

修会にご参加ご協力いただきまして心より感謝申し上げます。又、日々の忙しい中でも、友会、母親教室への出講、ネットフォーラムへのお力添えをいただき、ありがとうございます。

今年、対面会場が多くなって行きます。運動の方向が数から質へと転換され、そして運動の質の向上には、質の高い講師を増やしていく事も必要とされています。講師は、人・時・処に依りて教えを説きお伝えすることに心掛けて行く事を求められています。

必要があります。その為には、日頃から積極的に地方講師研修会に参加し、見真会や教化部で行われる行事などへ多くの講師の方が率先して参加していただきます。日々の三正行の実践と生活の中での講師としてのお世話活動をしていく中で、新しい方には傾聴を心掛け人と人との繋がりが、縁を大切にしたいとお世話活動を明るく、楽しく、喜び溢れる愛行を皆様と共に進めて行きます。

本年が、皆様にとって素晴らしい年となります。心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。再拜

## 栄える会



栄える会会長  
石原 民雄

あけましておめでとうございます。昨年中も栄える会役員、会員の皆様、教化部職員の皆様、各組織の幹部、会員の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございます。本年も、皆様におか

れまして尚一層素晴らしい善き新しい年を迎えられました事、心より祝福申し上げます。コロナ禍により中止となっていました代表者会議が昨年十一月十日に国際本部、森の九日のオフィスで開催されました。長谷川教化部長、三浦教化部長、野沢教化部長、川上前事務局長の皆様と久しぶりにお会い出来ました。「山梨の役員会員の信徒の皆様にくれぐれもよろしくお伝えください。」と懐かしくお話をされていきました。

今回の代表者会議で「新規三カ年計画(段階一 二〇二五年、二〇二七年)」「運動方針が発表されました。詳しくは機関誌『生長の家』令和六年十二月号をご拝読ください。会場では『必達レベル』と『努力レベル』の目標を設定し、二〇二六年は、見直しと改善を行い、二〇二七年は『努力レベル』に到達出来たのかどうかを検証しながら進めていくというお話がありました。

栄える会では例年の日「一汁一飯」を2025年『必達レベル』の目標としました。『努力レベル』は栄える会役員会員の皆様と

## いずみ生命学園

共提案して参りたいと考えています。最後になりませんが、本年も山梨教区各組織の役員、幹部、会員、信徒の皆様にとりまして、より一層実相顕現、益々のご健勝と、ご多幸を祈願申し上げます。再拜

とき：12月7日(土) 12:30~14:30  
ところ：北杜市大泉10区 公民館  
朝礼：開会の祈り、大調和の神示、『神さまと自然とともなる祈り』、行いました。

今月は、『生活読本』の中の「世の中は自分の心の鏡」(56ページ)「あなたが、優しく呼びかければ、相手も優しく答えます。あなたが「こら！」と怒った呼び方をすれば、相手も怒った答えをだすでしょう。売り言葉に買い言葉、こちらの出した値のものが帰ってきます」というような小学生にもわかりやすい内容なので、是非読んで下さいとお勧めしました。その後、宇都宮詩織さんに、「おくりもの」

の絵本を読んでもらいました。友達と遊ぶときに、自分の針が友達を傷つけてしまうことに悩んでいるハリネズミ君が、友達を熊君から、だれにでもよいところを悪いところがあることを聞き、慰められてホッとしました。そして自分が友達に何が出来るか考え、友達を傷つける自分の針を使って、プレゼントの編み物を贈りました。

ハリネズミ君が長い冬眠から覚めると、贈り物をもらった森の友達たちが、冬の間に花の種をまいて、春に目覚めたハリネズミ君が喜ぶように、いっぱい花を咲かせてくれました。お互いが自分の得意なことを相手にしてあげることで、仲良しになれるというお話です。

キ、松や折り紙で飾りつけました。渡辺雅子地区連長、近藤弥栄子さんからお菓子を頂きました。どうもありがとうございます。参加者…宇都宮詩織、宇都宮実莉、宇都宮七海、近藤仁美、保護者…宇都宮知恵、スタッフ…田中満子 (敬称略)





# オープン食堂

十一月十六日、教化部において、「オープン食堂」が開催され、運営も合わせて二十五名の方が参加されました。

・メニューに、はんぺんチーズフライがあり、大変好評でした。運営の方の感想を一部掲載いたします。



・電気自動車の充電にいられている方とお話させていたいただきました。いつも美味しく楽しみにしているとおっしゃっていました。

・今回も野菜類の殆どが信徒さんからいただいた物です。ありがとうございました。配膳も少人数で行い、交代で食事をしたので片付けも早く終わる事が出来ました。

また、十二月十一日の「オープン食堂」は綺麗にリニューアルされた二階講堂で開催され、運営も合わせて二十九名の方が参加されました。  
十二月のメニューは、冬野菜のシチュー、じゃがいものサモサ、キャベツのマリネ、ゆずゼリーでした。



ご参加された方からは「キャベツのマリネにスープフードが入っていて、味のアクセントにもなりました。とても美味しかったです。」「シチューが優しい味で野菜たっぷり、日頃の野菜不足が解消されてとても嬉しかったです。」「オープン食堂のメニューが日々の食事の参考になりました。ありがとうございます。」「声をお聞かせくださいました。」「お越しいただきました皆様、運営としてご奉仕くださいました皆様、心より感謝申し上げます。」

# 先祖感謝供養祭

十二月八日、教化部において先祖感謝供養祭が執り行われ、二十四名が参列されました。(教化部十八名、ネット六名)

当日は、一、四〇四柱の霊牌が招霊されました。参列者は真心を込めて、聖経『甘露の法雨』一斉読誦、焼香を行いました。御祭の後、教化部長挨拶があり、感謝を深める一日となりました。

ご参列いただきました皆様、招霊祭員の皆様、心より感謝申し上げます。



聖壇の天井と壁も綺麗になりました。

# 教化部大掃除(二回目)

十一月三十日、教化部の大掃除が行われました。二階の本棚の整理、掃除機かけなど、十時〜十六時頃まで行いました。

皆様のご協力のおかげで、とても綺麗に整頓されました。ご奉仕いただきました皆様、心より感謝申し上げます。





# 「田中 尚 教化部長 着任奉告祭、並びに新年祝賀式」開催!

<詳細は、教化部へお問合せください>


- 【とき】: 1月5日(日) 午前10時 開催
- 【ところ】: 生長の家山梨県教化部 拜殿 (2階)
- 【参加方法】:
  - ・教化部へ直接参加(送迎の有無を含め、予め教化部へ連絡してください)
  - ・Facebookライブ配信にて参加
  - ・新しい教化部長を 神さまとご一緒に お迎えする 素晴らしい機会です。ぜひ 多くの皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

**「鏡餅」のご案内**

感謝の真心を込めて  
鏡餅を奉納し、  
新年を迎えましょう。

教区鏡餅 一口 二千円以上随意  
申込目安 十二月二十日  
(一月末まで受け付けます)

※申込は教化部へお願いいたします。  
教化部拜殿に今年の初午祭まで  
奉安し、教勢発展・繁栄祈願を  
いたします。



**「先祖感謝供養祭」**  
(毎月開催、以下は直近2カ月の日程)

日時: 1月12日(日) 11:00~12:30  
2月11日(火) 11:00~12:30

当日は、Facebookグループ生長の家山梨教区で  
ライブ配信します。

※ 霊牌は、教区の御祭後、宇治別格本山に送られ、  
1年間通して「聖經・讃歌」の読誦によって供養されます。

教勢発展・繁栄祈願  
**末一稻荷神社初午祭のご案内**

日時: 令和7年2月6日(木) 午前11時~  
場所: 生長の家宇治別格本山 末一稻荷神社

※奉納金額は随意です。  
申込書と一緒に教化部へお届けください。  
祈願申込書の締切は、2025年1月20日(月)です。

**<2025年オープン食堂開催予定日>**  
1月15日(水)、2月15日(土)、3月22日(土)、  
4月9日(水)、5月17日(土)、6月18日(水)、  
7月9日(水)、9月17日(水)、11月12日(水)、  
12月13日(土)

**<2025年甲斐見真会予定日>**  
3月15日(土)・16日(日)、6月7日(土)・8日(日)、  
9月6日(土)・7日(日)、11月8日(土)・9日(日)

普及誌2月号(12/8締切)新規購読者  
ご紹介くださいましたみなさま  
ありがとうございます。(敬称略)

組織名	お名前	紹介者
相愛会	石澤 寛	

2025年(令和7年)  
**オープン食堂** 1月15日(水) 12:00 ~ 13:30  
場所: 生長の家山梨県教化部

健康的な **昼食** は  
いかがですか?



料理写真は11月に撮ったメニューです。

**30食 標準 無料**

**ノーミート料理**にこだわる理由

- 地産地消**  
できるだけ山梨県産の食材を使い、  
輸送にかかるCO2を抑えています。
- 旬産旬消**  
旬の食材を使うことで、環境への負荷を  
低減し、健康に配慮しています。
- 無農薬**  
信徒の畑で採れた野菜などを活用  
し、無農薬を心がけています。
- 有機栽培**  
農作物本来の味を引き出し、生物多様性を  
保全する効果が期待できます。

